

# 会 議 録

会 議 の 名 称	上尾市子ども・子育て会議委員委嘱式及び平成 31 年度第 1 回上尾市子ども・子育て会議	
開 催 日 時	令和元年 7 月 9 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 4 時 50 分	
開 催 場 所	上尾公民館 講座室 501	
議長(委員長・会長)氏名	中村 磐男	
出席者(委員)氏名	浦和三郎、戸野部直乃、伊藤由美子、内藤友里、入野麻希、遠山貴洋、野村和広、外石馨、萩原和也、久芳敬裕、鈴木玲子、大川原恵子、田中元三郎、大場玲子、西川達男	
欠席者(委員)氏名	城所典子、小林斗志子	
事務局(庶務担当)	<p>【子ども未来部】 部長 柳真司、次長 清水千絵</p> <p>【子ども支援課】 課長 内田雅幸、主幹 松木ヒロシ、主事 和田一駿</p> <p>【保育課】 課長 井上雅文、主幹 藤波伴安、副主幹 濱田信子、主査 赤羽根智子、主事 水城祥冴</p> <p>【青少年課】 課長 黒須昭彦、主任 米川奈津子</p> <p>【子ども・若者相談センター】 所長 堀口めぐみ、主査 新田武志</p> <p>【健康福祉部健康増進課】 課長 加藤浩章、副主幹 半田敦子</p> <p>【(株)アールピーアイ栃木 (計画策定コンサルティング)】 代表取締役 室井忠顕、副主任研究員 島拓也</p>	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	① 平成 30 年度上尾市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について ② 第 2 期上尾市子ども・子育て支援事業計画の策定について ③ 幼児教育・保育の無償化について ④ その他	①承認  ②承認  ③承認
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 4 名

<p>会 議 資 料</p>	<p>資料 1 上尾市子ども・子育て支援事業計画進捗状況（平成 30 年度）  資料 2 上尾市子ども・子育て支援事業計画 量の見込みと確保方策進捗  状況（平成 30 年度）  資料 3 幼児教育・保育の無償化について  資料 3-2 上尾市の保育の現状について  資料 4 諮問書  資料 5-1 上尾市子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書  資料 5-2 第 2 期上尾市子ども・子育て支援事業計画策定の概要</p>

## 議事の経過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1. 上尾市子ども・子育て会議委員委嘱式</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 委嘱状交付</p> <p>(3) 子ども未来部長あいさつ</p> <p>(4) 閉会</p> <p>2. 平成31年度第1回上尾市子ども・子育て会議</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 諮問</p> <p>(3) 議題</p> <p>①平成30年度上尾市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について (資料1、資料2、資料3-2) 事務局より説明</p>
会長 戸野部委員	<p>ご質問、ご意見がございましたらお願いします。</p> <p>資料2、P8、「(4) 乳児家庭全戸訪問事業」について、面会率が91.7%と高いとは思いますが、平成30年度の実績では48人に面会できていない状況です。訪問した際に面会できなかったことで、隠れた幼児虐待に気付けなかったというニュースも耳にするので、面会できなかった理由とそれに対する今後の対策についてお聞かせください。</p>
事務局	<p>事前の約束をせずに訪問をしていることも理由として考えられますが、同時に保健師、助産師による新生児訪問を行っており、こちらで訪問が済んでいる家庭も数には含まれております。会えなかった家庭については、保健師が連絡や訪問をして、それでも会えなければ必ず4ヶ月検診で会って子どもの成長を確認し、子育て支援情報をお渡ししております。</p>
戸野部委員	<p>赤ちゃんへプレゼントを渡す支援も開始されたということですが、どのようなかたちでお渡ししているのでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度より赤ちゃんギフト事業を始めております。産後2ヶ月ぐらいの母親は、一番メンタルが心配される時期なので、東保健センターや子ども支援課に出向いていただいて、プレゼントをお渡ししながら相談を受けております。</p>
入野委員	<p>資料1、資料2とも、評価をA B C Dの4段階評価としておりますが、90%以上の達成で「A」というように、数値的な評価をされているのでしょうか。</p>

事務局 入野委員	<p>明確な数値基準は設けておりません。</p> <p>数値的な基準を設けて評価をしている自治体もあり、そのほうが担当者の変更などで評価基準が変わることなく評価ができるのではないかと思います。また、前年と比べて評価がどうなったのかがわかりにくいので、前年比があるとよりわかりやすくなると思いました。</p>
事務局	<p>来年度は5年間の取りまとめの報告になりますので、その際には評価の比較ができるようにしたいと思います。</p>
外石委員	<p>資料2、P4、「教育・保育事業の量の見込みと実績」について、現在、保育士の確保が難しく、問題になっております。上尾市では保育士の確保についてどのように考えているのか教えてください。P16、「(13)多様な主体の参入促進事業」とありますが、そこに保育士確保についての事業があがっていれば幸いです。</p>
事務局	<p>上尾市独自の事業はありません。他市の状況を踏まえながら対応したいと考えております。</p>
外石委員	<p>保育士の確保については、保育所同士ではなく市町村レベルでの戦いになっております。小規模保育所は全体の23%になり、上尾市の1/4にあたる0、1、2歳児をお預かりしていることとなります。子どもたちを確実にお預かりするためには、行政のバックアップも必要となります。次期計画については、優秀な人材の確保についてもお考えいただければ、安定した保育士の質の向上につながると思いますので、お力添えをいただきたいと思っております。</p>
事務局 入野委員	<p>検討したいと思います。</p> <p>資料2、P3、「提供量の見込み及び確保方策」について、平成31年度、3号、1-2歳で6名分が不足しております。2人目、3人目の子どもがほしいが、保育所に入れるかわからないために躊躇してしまうという声が多くあります。今後の保育所の確保についてご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>P3、「提供量の見込み及び確保方策」については、計画上の数値になります。実績はP4、「計画と実績」、(イ)実績、平成30年度、3号、1-2歳の152人が保留児童になります。近隣市と接する部分で待機児童が多く発生している状況のため、幼稚園の認定こども園化、小規模保育との併用など、既存のものを有効活用していきたいと思っております。</p>
入野委員	<p>子どもが1歳を迎えた育児休業明けや、一度退職してから復帰することもハードルが高く、保育所不足は年度途中で多く発生しています。都内では、新規開設した園の、年長児などあまり人数が集まらないクラスの保育室を利用して、期間限定で1歳児を保育している自治体もあります。上尾市についても柔軟な対応をよろしくをお願いします。</p>
会長	<p>他に質問等がないようであれば、ただ今の議事については承認ということによろしいでしょうか。</p> <p>一同承認</p> <p>②第2期上尾市子ども・子育て支援事業計画の策定について (資料5-1、資料5-2) コンサルより説明</p>
会長	<p>資料5-1に、【前回調査結果】の掲載がありますが、これは5年前の調</p>

事務局 会長 久芳委員	<p>査結果と考えるとよろしいでしょうか。 5年前のものとなります。 それでは、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。 10月から保育の無償化が始まります。無償化によりどのような影響がでてくるかがわからない状況での計画策定になるので、来年、再来年あたりに無償化の影響がどのように出て、計画にどのような影響を与えたかについての振り返りをする必要があると思います。</p>
会長 萩原委員	<p>幼児教育・保育の無償化については次の議題になりますので、そちらで回答いただきたいと思います。 資料5-2、P4、「(2)総合的な放課後児童対策の推進」については、国の新・放課後子ども総合プランを踏まえとありますが、上尾市の放課後子ども教室を重要視しているプランだと思います。この会議では、放課後子ども教室について検討する場ではないという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局 入野委員	<p>教育委員会とは別に検討しているため、この場で直接ということではありません。 資料5-2、P6、「7.第2期計画策定に向けたスケジュールについて」、第4回にパブリックコメントの実施とありますが、どのようなかたちで行うのでしょうか。</p>
事務局 入野委員	<p>現行計画でもパブリックコメントを実施しておりますので、前回の実施を踏まえて行いたいと思っておりますが、詳細についてはまだ決まっております。 パブリックコメントは、計画素案がインターネット等で見られるようになっていて、それを見てご自由に意見をどうぞという形式のものなのか、選択肢があって、これでいいですか、「はい」と回答する形式のものなのか、教えてください。</p>
事務局 会長	<p>基本的には自由意見をいただく形式になりますが、より多くの意見をいただけるように検討したいと思います。 他に質問等がないようであれば、ただ今の議事については承認ということでもよろしいでしょうか。</p>
	<p>一同承認</p>
	<p>③幼児教育・保育の無償化について (資料3) 事務局より説明</p>
会長 事務局 入野委員	<p>先ほどの久芳委員からのご質問について、事務局より回答をお願いします。 無償化については、現時点でも多くの相談、問い合わせがありますので、想定できる部分については計画に組み込んでいきたいと思っておりますが、想定し得ない部分については情報を共有しながら検討したいと考えております。 私の家庭には、小学1年生、年中、1歳の子どもがいますが、現在、第3子の保育料は無償です。無償化制度の開始後は「保育所等を利用する最年長の子どもを第1子とカウントして、0歳から2歳までの第2子は半</p>

<p>事務局</p> <p>入野委員 事務局 会長</p>	<p>額」とあるため、第3子の保育料を半額支払うことになってしまうと思います。このように、無償化の制度が始まることで経済的負担が増える家庭はあるのでしょうか。</p> <p>無償化の開始後も現行制度の考えを継続しますので、カウントの仕方は変わりません。</p> <p>負担が増える家庭はないということでしょうか。</p> <p>そのような家庭がでないような対応になります。</p> <p>他に質問等がないようであれば、ただ今の議事については承認ということよろしいでしょうか。</p> <p>一同承認</p> <p>④その他</p> <p>事務局より子育てガイドブック及び次回会議の日程について説明</p>
<p>会長</p>	<p>ご意見がないようであれば、本日の議題は終了とさせていただきます。</p> <p>(4) 閉会</p>